

(仮称) みさき農業公園基本計画策定委員会（第4回） 記録

【開催概要】

○日 時：令和7年3月18日（火）15：30～16：50

○場 所：岬町役場3階第2委員会室

○出席者：

所属	役職	氏名	備考
学識経験者	和歌山大学名誉教授	橋本 卓爾	
学識経験者	摂南大学農学部准教授	中塚 華奈	
岬町観光協会	執行役員	岩田 史子	
岬町農業委員会	委員	木下 喜久子	
道の駅みさき指定管理者（株）プラス	営業本部 店舗運営部 部長	前田 貢男	欠席
岬町自治区長連合会	会長	川端 修	
岬町商工会	会長	竹内 邦博	
大阪府泉州農と緑の総合事務所	所長	中塚 武司	欠席
岬町林業活性化地区推進協議会	会長	貴治 林作	
南池土地改良区	理事長	森脇 郭亘	
大阪府森林組合 泉州支店	支店長	木下 茂雄	欠席
淡輪西水利組合	理事	中塩路 吉彦	
公募委員		里中 正英	

●事務局

所属	役職等	氏名	
岬町 都市整備部	理事	吉田 一誠	
岬町 都市整備部 産業観光促進課	副理事	新保 太基	
岬町 都市整備部 産業観光促進課	課長	竹田 史子	
岬町 都市整備部 産業観光促進課	係長	大西 雄太	
岬町	政策情報顧問	白井 保二	
〔委託業者〕	チームリーダー	清水 紀行	
(株)地域計画建築研究所（アルパック）	チーフ	武藤 健司	

【議事内容】

1. 開会

2. 第3回委員会の振り返り

- ・事務局より、資料1「(仮称) みさき農業公園基本計画策定委員会(第3回)記録」について説明を行った。
- ・内容に不備等がある場合は事務局まで連絡いただく。

3. 今後のスケジュール等に関する報告

- ・事務局より、資料2「(仮称) みさき農業公園基本計画(素案)に対する意見募集の結果について」、資料3「(仮称) みさき農業公園基本計画(案)」の説明を行った。

<委員からの意見>

○委員

- ・道の駅みさきと農業公園の連携について、前回の委員会では、「物理的な連携」だけでなく、「ソフト的な連携」も含まれるという説明であった。道の駅みさきには、年間110万人の来訪があり、農業公園と道の駅の連携は必須だと考える。
- ・そのため、「道の駅と農業公園を歩道橋で結ぶ」などを計画内に明記できないか。農業公園の企業参入などを考えると、このような記載があった方がよいのではないか。
- ・また、農業公園に「宿泊機能」の導入は考えられないか。対象地は、なだらかな場所であり、大阪湾や淡路島まで見渡せる景観的にも美しい場所であるため、集客力もあるのではないか。

○事務局

- ・歩道橋設置を記載するには、十分な検討が必要であるため、今後の検討課題としたい。ご意見のとおり、道の駅みさきは多くの来訪があり賑わっているが、「駐車場や店舗スペースが狭い」といった課題もある。歩道橋で農業公園と繋ぐことで、より課題が顕著となる可能性もある。
- ・また、現段階では対象地に宿泊機能は考えていない。みさき公園には宿泊機能が導入される予定であり、基本的には、農業公園だけで完結せず、町内全体を周遊していただける取組を進めたいと考えている。
- ・なお、6ページに記載があるように、府道沿道には地区計画がかかっており、その区域内では宿泊施設は設置できない状況である。

○委員

- ・古墳について、国や府の協力も得ながら観光資源として活用できないか。例えば、古墳の周溝は水深2mほどあり、水を抜いてみるなども考えられないか。町の管轄で実施できるのか。

○事務局

- ・対象地の古墳は生涯学習課が管轄しており、何をするにしても申請が必要である。
- ・基本計画では、古墳の活用についても言及しているが、現段階では何をするかまでは決まっていないため、次年度以降に具体的に検討したい。

○委員

- ・道の整備や水路の清掃はじめ、「どこまでなら実施できるのか」を地権者とともに検討が必要である。

○事務局

- ・古墳に関する意見はパブリックコメントでもあがっている。「歴史的観点」と「観光資源として活用」の両面からの検討が必要である。次年度には、導入可能性調査や整備計画の策定を進めていく予定であり、具体的な検討は来年度に実施したい。

○委員

- ・町としてシンボリックに実施するのであれば、古墳の価値を町民に知ってもらう取組やイベントなども重要である。

○委員長

- ・次年度に具体的に検討する意見もあるが、まずは基本計画の内容を固めたい。

○委員

- ・具体的に進める取組は「モデルプロジェクト」として記載されており、モデルプロジェクトを具体化させることが重要である。例えば、貸農園であれば、利用料金などを詰めていくことでイメージが固まってくるだろう。

○事務局

- ・「農業公園」として整備するため、「農業生産」が核であると考えている。農業生産の拠点として農業公園があり、町内の農地へと広がっていくような取組を展開したい。
- ・そのためには、農業生産の軸となるプレーヤーの存在がポイントになるため、地域の方々と連携しながら、岬町農業の活性化を図りたい。
- ・そのような検討の中で、憩いのエリアなども整備し、周辺地とともに活性化を図りたい。

○委員

- ・地権者に支払う土地代は決まっているのか。

○事務局

- ・現段階では町が借りるのか、町が買い取るのかは決まっていない。30 ページにスケジュールを記載しており、地権者への追加の意向把握とともに検討を進めていく。

○委員

- ・30 ページのスケジュールについて、住民向けの市場調査が必要ではないか。また、水質や土壌の調査、再生可能エネルギーの活用についても項目を追記してはどうか。

○事務局

- ・住民向けの市場調査は予定していないが、官民連携手法導入可能性調査の中で、必要に応じて実施したい。
- ・水質や土壌調査は現段階では実施していないが、町内事業者・関係団体等の意向や調整とともに検討したい。
- ・再生可能エネルギーについても同様であり、SDGs等の観点から重要性は理解しているが、今後深度化していく中で検討したい。

○副委員長

- ・岬町では、令和2年度の構想を策定されているが、構想の策定段階では、本日のような具体的な意見は出なかったと思われる。構想の次のステップとして本日のような議論ができているため、今回の基本計画を踏まえて、次年度以降に具体的な議論ができるだろう。
- ・コロナ禍を経て、最近では様々な方法で他事例の情報を得ることができる。そのような情報も踏まえながらセレクトしていくことが重要である。

○委員長

- ・より具体的なことが記載できればよいが、地権者との調整をはじめ、具体化できていない部分もある。次年度以降の課題ではあるが、基本計画としてはこの内容でよいのか。

○委員

- ・計画としては問題ないが、実現していくことが大変である。

○委員

- ・古墳の活用は、関係者が連携して推進したい。

○委員

- ・古墳の活用については同意見であり、農業公園と古墳を活かし町内外から誘客を期待したい。

○委員

- ・岬町の住民としても、ぜひとも成功させてほしい。

○委員

- ・現在は、観光で来訪された人に「古墳に入れます」と案内しても車を停める場所がないため、観光利用を進めるのであれば、古墳周辺に車が数台でも停められる駐車場が必要である。
- ・子ども向けの勾玉づくり体験など、古墳を活用して実施したい観光プログラムがあり、上手く連携して推進したい。

○委員

- ・23ページ「段階的な整備」について、ステップ1→ステップ2の流れでよいのか。まずは、「観光・交流エリア」ではなく、「農業・生産支援エリア」や貸農園の取組から進めた方がよいのではないのか。

○事務局

- ・22 ページでは、貸農園は「観光・交流エリア」に含まれている。また、「観光・交流エリア」が農業公園ということではなく、20 ページに示すように整備する機能全体（エリア全体）を農業公園と考えている。

○委員

- ・農業公園については、耕作者が減っていく中で「農地を町に購入してほしい」という意見もある。淡輪には 33ha の農地があるが、水稻でも 3 ha 程度しか生産されておらず、大半が耕作放棄地になっている。
- ・計画自体は素晴らしいが、地権者との話し合いがスムーズに進むかは分からない。

○委員

- ・大変良い計画ができたと思っている。これから地権者との話し合いなど大変なことも多々あると思うが、事務局には頑張っていたきたい。

○副委員長

- ・地権者との話し合いについて、お金の話だけに終始するのではなく、農業公園の整備と一緒に取り組める方法を考えられないか。農業公園の整備に対して傍観者となるのではなく、「一緒に関わった方がおもしろそう」と思ってもらえるようになればよい。
- ・また、検討委員会の委員の皆さまの協力やネットワークも得ながら推進が図ればよい。

○委員長

- ・基本計画としてはこの内容でよい。

— 承認 —

4. その他

- ・事務局より、次年度の予定等について説明を行った。

○委員

- ・委員会は次年度も開催されるのか。

○事務局

- ・当委員会は、基本計画を策定するための委員会であるため今回が最終となる。次年度は別の組織体を作ることも検討している。

○委員長

- ・4 回の委員会で活発なご発言をいただいたことで、計画を作成することができた。計画策定後は、一歩でも二歩でも前に進めて、府内でも評価される農業公園を作っていくことが大事である。

- ・農業公園の実現に向けて、引き続きご支援・ご協力をいただきたい。

以上